



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

聖書は自制（節制）について何と言っているか？ — 第2部 ・ ストロングナンバー付きKJV聖句

PART 2・聖書の基礎的教理に基づく新しい研究

節制 — 聖書の基礎教理

開会の言葉

節制とは、人が自分自身の内に向けて働かせる力である。土台はすでにこう据えられている。節制とは自制であり、御霊の実であって、それを失う者は、アハブが自らを売り渡して悪を行ったように、自分自身を売り渡してしまう。今、新たな証人たちが同じ真理のもとに集まってくる。ギリシア語ではエンクラテイア(G1466、自制)であり、これはクラトス(G2904、力)の上に築かれている——内なる力、自分自身を治める力である。古い言葉はマーシャル(H4910、治める)であり、これは統治者を表す言葉であるが、知恵ある者はこの言葉を人自身の霊に当てはめる。よくよく心に留めよ。人は町を攻め取ることができても、自分自身の欲望に捕らえられてしまうことがある。自分の霊を治める者は勇士にまさり、治めることのない者は、城壁もなく打ち壊された町のものであって、どんな敵も自由に入り込んでくる。しかしこの実は御霊から生じるのであって、罪の性質からは生じない。心を確かに保て。目を覚ましていよ。体を服従させよ。ダニエルが心に定めたように、心に定めよ。ヨセフが逃げたように、逃げよ。なぜなら恵みは、不敬虔とこの世の欲を捨てるようにと教えているからであり、節制する者は決して色あせない冠を目指して走るのである。これを探り究めよ。

本研究が答える三つの問い:

1. 節制とは何か、それは罪深い性質から来るのか、それとも御霊から来るのか。
2. 自分の霊を制する人とは何であり、それを制することのできない人とは何であるか。
3. 自制心のある人はどのようにして自分の体を服従させるのか、また彼の前にはどのような冠が置かれているか。

既に据えられた基礎 — 節制

基礎 → 節制とは自制であり、御霊の実である(ガラテヤ5:23)。

土台 → アハブは自分の欲望を制することができず、悪を行うために身を売った(列王紀上21:20)。

基礎 → エサウは一杯の食物のために長子の権利を売った(ヘブル人への手紙12:16)。

基礎 → エバは見た + 欲した + 取った = 肉の欲 + 目の欲 + 生活の誇り(創世記3:6、ヨハネ第一2:16)。

土台 — キリストは苦しみによって従順を学ばれた(ヘブル人への手紙5章8節)。

土台 → キリストは自らを卑しくして、死に至るまで従順であられた(ピリピ2:8)。

土台 → すべて勝負を争う者は、すべての事において節制する(コリント人への第一の手紙9:25)。

パート2は、新たな一連の証人たちによって同じ真理を確認します。

ギリシャ語キーワード

“節制” — **G1466 egkrateia** — 自制、節制

そのようなものに対しては、律法はない。すなわち、柔和、自制。

“自制している” — **G1467 egkrateuomai** — 自制心を働かせること

試合で勝利を目指すすべての者は、すべてにおいて節制する

“節制のある” — **G1468 egkrates** — その事において強く、支配力があり、自制心がある

節制のある、正しい、聖なる、自制ある

“節制” — **G3525 nepho** — ぶどう酒を抑える、思慮深い、慎む

身を慎み、目を覚ましていなさい

“節制して” — **G4996 sophronos** — 健全な心を持って、節度をもって

敬虔に、正しく、慎み深く生きるべきである

(私の個人的な考え——この語群に注目してください。これらは一つの家系から出た三つの言葉です。egkrateia(G1466、自制)はその実そのものであり、egkrateuomai(G1467、自制を働かせること)はそれを行うことであり、egkrates(G1468、あることにおいて強いこと)はその人自身であり、テトス1:8にあるように——慎み深く、正しく、聖く、節制のある人です。そしてこの三つすべてはkratos(G2904、力)——支配、権力、強さの上に築かれています。神はこの実のために「力」を意味する言葉を選びました。節制とは弱さではなく、内に向けられた強さであり、自分自身を制する人のことです。そしてnepho(G3525、ぶどう酒を抑えること)にも注目してください。ストロングによれば、それは思慮深くあること、目を覚ましていることを意味します。慎み深い人とは、目を覚ましている人のことです。)

ヘブライ語キーワード

“規則” — **H4910 mashal** — 統べる、支配する、治める

自分の霊を治める者は、城を攻め取る者よりも勝る

“規則” — **H4623 matsar** — 制御、抑制

自分の霊を制することのない者

“目的を定めた” — **H7760 sum** — 置く、据える、定める

ダニエルは、自らを汚さないことを心に定めた

“逃げた” — **H5127 nus** — 逃げること、逃れること

彼は上着を彼女の手に残して逃げた

(私個人の思い——この二つの箴言は、二つの言葉によって一つの教えを語っており、その言葉の選び方自体が私たちに何かを教えている。箴言16:32ではマーシャル(H4910、支配する)という言葉が使われている——これは支配権を表す言葉であり、昼と夜を治めるために置かれた光(創世記1:18)や、エジプト全土を治める者とされたヨセフ(創世記45:8)について用いられている。箴言25:28ではマーツアル(H4623、制御)という言葉が使われており、これはアーツアル(H6113、抑制する)から来ている。一方の言葉は王座に着く統治者であり、他方は城壁を保つ抑制である。神は人の霊そのものを、治められるべき支配権であると同時に、守られるべき城でもあるとみなしておられる。)

OPENING ANCHOR(冒頭のアンカー)

ガラテヤ人への手紙 5:22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、
御霊の実=愛+喜び+平安+寛容+親切+善意+誠実。

ガラテヤ人への手紙 5:23 柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1466 egkrateia

柔和 + 節制 + かかるものを制する律法はない。

(私自身の思い——まず気づいてほしいのは、節制とは「実」であり、その実は御霊のものだということです。エグクラティア(G1466、自制)は名を挙げられた九つの実の最後であり、この言葉はクラトス(G2904、力)の上に築かれています——内なる力、自分自身を治める力です。罪深い性質はこの実を実らせることができません。御霊によって歩む者たちの内で、御霊がこれを実らせてくださるのです。このようなものを禁じる律法はありません。)

I. 自分の霊を治める規則

A. 箴言 16:32 怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4910 mashal

自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる。

(私個人の考え——その言葉はマーシャル(H4910、支配する)、支配の言葉である。神は自分の霊を治める者を、勇士よりも、町を攻め取る者よりも優れた者とみなされる。最大の支配は内側にある。)

B. 箴言 25:28 自分の心を制しない人は、城壁のない破れた城のようだ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4623 matsar

自分の霊を制することができない者は、破られて城壁のない町のようなものである。

(私の個人的な思い——ここでの言葉はマツアル(H4623、control)であり、アツアル(H6113、to restrain)から来ている。すなわち、抑制である。抑制がなければ、城壁もない。そして城壁が崩れているところには、あらゆる敵が入り込んでくる。)

II. 心の腰に帯を締めよ — 慎み深くあれ、目を覚ましていよ

A. ペテロの第一の手紙 1:13 それだから、心の腰に帯を締め、身を慎み、イエス・キリストの現れる時に与えられる恵みを、いささかも疑わずに待ち望んでいなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3525 nepho

心の腰に帯を締め、慎み、終わりまで望みを抱け。

B. ペテロの第一の手紙 5:8 身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけろしのように、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3525 nepho

謹んで慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたてる獅子のように歩き回っています。

(私の個人的な思い——ペテロは自分の手紙の冒頭で、心を整えて行動に備えよ、慎め、と述べており、そして手紙の終わりでは、慎め、目を覚ましておれ、と締めくくっている。そしてその終わりのところで、なぜそうすべきかを示している。あなたの敵のためである。nepho(G3525、ぶどう酒を控えるという意味)とは、思慮深くあること、目を覚ましていることを意味する。備えのない心は、城壁のない町のようなものであり、そして獅子が徘徊し、食い尽くすべき者を探し求めている。)

III. 光の子ら——我ら目を覚まし慎むべし

A. テサロニケ人への第一の手紙 5:6 だから、ほかの人々のように眠っていないで、目をさまして慎んでいよう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3525 nepho

だから、ほかの人々のように眠っていないで + 目をさまして 慎んでいよう。

B. テサロニケ人への第一の手紙 5:8 しかし、わたしたちは昼の者なのだから、信仰と愛との胸当を身につけ、救の望みのかぶとをかぶって、慎んでいよう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3525 nepho

私たちは昼に属する者であるから、慎み深くしていよう + 信仰と愛の胸当てを + また救いの望みの兜をかぶっていよう。

(私個人の思い——眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔うのである(テサロニケ前書5:7)。しかし、あなたがたは昼の子らである。慎み深い者が身に着けているものに注目してほしい。胸当てと、兜である。慎みは武具である。そして兜とは希望である——慎み深い心とは希望する心である。ペテロもまた言うように、慎み深くあれ、そして終わりまで望みを置け。)

IV. 罪に支配させてはならない — 何ものの支配下にも置かれない

A. コリント人への第一の手紙 6:12 すべてのことは、わたしに許されている。しかし、すべてのことが益になるわけではない。すべてのことは、わたしに許されている。しかし、わたしは何ものにも支配されることは

ない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1850 exousiazō

すべてのことは許されている+すべてのことが益になるわけではない+私は何事にも支配されない。

(私の個人的な考え — エクスシアゾー(G1850、権威を行使する) — ストロングによれば、力の下に置くこと。ここに、自制する者が合法的な事柄について自らを試す基準がある。すなわち、それは合法か、だけでなく、それは私を支配するようになるか、である。あなたを支配する合法的な事柄は、あなたの主人となってしまったのであり、誰も二人の主人に仕えることはできない。)

B. ローマ人への手紙 6:12 だから、あなたがたの死ぬべきからだを罪の支配にゆだねて、その情欲に従わせることをせず、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G936 basileuo

だから、あなたがたの死ぬべきからだを罪の支配にゆだねて。

C. ローマ人への手紙 6:13 また、あなたがたの肢体を不義の武器として罪にささげてはならない。むしろ、死人の中から生かされた者として、自分自身を神にささげ、自分の肢体を義の武器として神にささげるがよい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3936 paristemi

あなたの肢体を罪に渡してはならない+あなた自身を神に献げよ+あなたの肢体を義の器として献げよ。

D. ローマ人への手紙 13:14 あなたがたは、主イエス・キリストを着なさい。肉の欲を満たすことに心を向けてはならない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4307 pronōia

あなたがたは、主イエス・キリストを着なさい+主イエス・キリストを着なさい。

(私個人の考え — バシレウオー(G936、支配する、王として君臨する)は王を表す言葉である。罪は死すべき体に王座を求めるが、節制はそれに、支配させはしないと告げる。そしてプロノイア(G4307、あらかじめの配慮)は備えのことであり、前もって注意深く計画することである。自制する者は、罪深い性質のために備えをせず、敵のために蓄えを用意しない。彼は主イエス・キリストを着て、自分の体の諸部分を神にささげるのである。)

V. 目的を定めた心と、節制する人

A. ダニエル書 1:8 ダニエルは王の食物と、王の飲む酒とをもって、自分を汚すまいと、心に思い定めたので、自分を汚させることのないように、宦官の長に求めた。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7760 sum

ダニエルは心に決めた — 彼は自分自身を汚さないと。

(私の個人的な思考 — サム(H7760、置くこと)は、置く、据えることを意味する。ダニエルは、王の食物が彼の前に置かれる前に、それを心に定めた。決断は、その分け前より先にあった。節制は誘惑の時に生まれるのではなく、あらかじめ決められているのである。)

B. コリント人への第一の手紙 9:25 しかし、すべて競技をする者は、何ごとにも節制をする。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするが、わたしたちは朽ちない冠を得るためにそうするのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1467 egkrateuomai

すべて競技をする者は、何ごとにも節制をする → 朽ちない冠。

(私の個人的な感想 — ここでの語は動詞、エンクラテウオマイ(G1467、自制心を働かせること)であり、実行に表れる節制である。そして、その度合いに注目せよ。すべてのことにおいて自制する、ある部分だけではない。朽ちる冠を得るために走る者たちは、一つの賞のために多くの合法的なことすら自ら断つ。ならば、決して朽ちない冠を得るために走る私たちは、なおさらそうすべきではないか。)

二人の口

箴言 16:32 怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4910 mashal

自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる。

箴言 25:28 自分の心を制しない人は、城壁のない破れた城のようだ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H4623 matsar

自分の霊を制することができない者は、破られて城壁のない町のである。

コリント人への第一の手紙 9:25 しかし、すべて 競技 をする 者は、何 ごとにも 節制 をする。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするが、わたしたちは朽ちない冠を得るためにそうするのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1467 egkrateuomai

しかし、すべて 競技 をする 者は、何 ごとにも 節制 をする。

(私個人の考え——この二つの箴言を並べてみたい。どちらも「町」という絵をもって語っているからである。自分の霊を制する者は、町を攻め取る者よりも勝れている。そして、自分を制することのない者は、まさに町そのものである——打ち崩されて、城壁もない町である。同じ霊が、守られた町となるか、崩された町となるか、その違いを生むのが「制すること」である。そこにパウロが第三の証人として立つ。勝利の栄冠は自ら己を制する者に与えられ、しかも「すべてのこと」において与えられる。勝利を競う者はまず内において己を制する者でなければならない。そして、その冠は朽ちることがない。)

影と実現

Shadow 創世記 39:9 この家にはわたしよりも大いなる者はありません。また御主人はあなたを除いては、何をわたしに禁じられませんでした。あなたが御主人の妻であるからです。どうしてわたしはこの大きな悪をおこなって、神に罪を犯すことができましょう。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2398 chata

それゆえ、私はどうしてこの大いなる悪を行い、神に対して罪を犯すことができようか。

Shadow 創世記 39:12 彼女はヨセフの着物を捕えて、「わたしと寝なさい」と言った。ヨセフは着物を彼女の手に残して外にのがれ出た。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H5127 nus

彼は着物を彼女の手に残して逃げ、外に出た。

Fulfillment テモテへの第二の手紙 2:22 そこで、あなたは若い時の情欲を避けなさい。そして、きよい心をもって主を呼び求める人々と共に、義と信仰と愛と平和とを追い求めなさい。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5343 pheugo

若い時の情欲を避け、義と信仰と愛と平和とを追い求めよ。

(私自身の思い——ヨセフは、その戒めが文字として書かれる前から、その戒めの影である。誘惑が来る前に、彼の答えはすでに用意されていた——「われ、いかにしてこの大いなる悪をなし、神に罪を犯すべきや」——ダニエルの決意が、その食物が出される前からすでに定まっていたのと同じように。そして彼女が彼の衣をつかんだとき、彼はその衣を残して逃げた——ヌース(H5127、逃げる)。パウロもテモテに同じことをひと言で書いている。フェウゴー(G5343、逃げる)——若き日の欲望からも逃げよ、と。注目してほしい。その言葉は「立って戦え」ではなく、「逃げよ」である——そして、その逃げることと共に、追い求めることがある。義、信仰、愛、平和を追い求めよ、と。ヨセフは衣を失い、しかし自らを清く保った。)

閉会

ペテロの第二の手紙 1:6 知識に節制を、節制に忍耐を、忍耐に信心を、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1466 egkrateia

知識に節制を、節制に忍耐を、忍耐に信心を。

テトスへの手紙 2:12 そして、わたしたちを導き、不信心とこの世の情欲とを捨てて、慎み深く、正しく、信心深くこの世で生活し、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G4996 sophronos

不敬虔と世の欲とを捨て、慎み深く、正しく、敬虔に生きること。

テトスへの手紙 2:13 祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神、わたしたちの救主キリスト・イエスの栄光の出現を待ち望むようにと、教えている。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1680 elpis

祝福に満ちた望み、すなわち+わたしたちの救主キリスト・イエスの栄光の出現を待ち望むようにと、教えている。

(私自身の思い——これが証しのすべての要約である。節制は御霊の実であり、信仰から愛へと登る階段の一段である。それは人が自らの霊を治める規範であり、備えられた思慮深い心であり、何者にも支配されない体であり、ダニエルの決意した心であり、ヨセフの逃げ去る足である。そして、それを教える師は誰か。恵み——人を救いに至らせる神の恵みが、不敬虔と世の欲を否み、慎み深く生き、かの幸いなる望みを待ち望むことをわたしたちに教える。自制する者は一部を手放すことができる、彼は現れを待ち望んでいるからである。そして彼の冠は決して朽ちず、決して衰えない。)

練習クイズ

1. ガラテヤ人への手紙5:23 — 柔和、自制であって、これらを否定する:
 - a) 何の罪の宣告もない
 - b) 律法はない
 - c) 差別待遇なし
2. ペテロの手紙第一 5:8 — 身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのうちに:
 - a) 光の御使い
 - b) 夜の盗人
 - c) ほえたけるしし
3. 箴言 16:32 — 怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は:
 - a) 城を攻め取る者
 - b) 力ある者
 - c) 分捕物を分ける者
4. 箴言25:28 — 自分の心を制しない人は、次のようだ:
 - a) 折れた歯、はずれた足
 - b) 傾いた石垣、崩れかけた垣根
 - c) 城壁のない、破れた城
5. ローマ人への手紙13:14 — しかし、あなたがたは、主イエス・キリストを着なさい。次のことのために備えてはならない:
 - a) 肉の欲を満たすこと
 - b) 体、何を着ようか
 - c) 明日
6. ペテロ後書1:6 — 知識に節制を、節制に:
 - a) 忍耐
 - b) 敬虔
 - c) 兄弟の親愛
7. テトス2:12-13 — 不信心とこの世の情欲とを捨てて、慎み深く、正しく、信心深くこの世で生活し、待ち望むべきもの:
 - a) 買い取られた所有物の贖い
 - b) 祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神、わたしたちの救主イエス・キリストの栄光の出現
 - c) 新しい天と新しい地、その中には義が住む

解答:1-b、2-c、3-a、4-c、5-a、6-a、7-b

このスタディの分岐

影がどのように光をもたらすか——ヨセフは逃げて外へ出た(創世記39:12)。しかしダビデはなおもエルサレムにとどまり、見て、取った(サムエル記下11:1-4)——逃げた者ととどまった者、それぞれの学びに備えて。

言葉がいかに重要であるかについて:箴言16章32節における「治める」はマーシャル(H4910、治める)であり、箴言25章28節における「治める」はマツァル(H4623、抑制する)である——一方の言葉は支配を意味し、他方は自制を意味する——どちらの言葉がどこに置かれているか、そしてその理由を見極めよ。

新しい契約はこれをどのように説き明かすか。キリストのものなる者は、その肉を情と欲と共に十字架につけたり(ガラテヤ5:24)。もし我ら御霊によりて生きるならば、また御霊によりて歩むべし(ガラテヤ5:25)——これらは錨に次いで立つ聖句であり、それ自体の研究のために備えられている。

どのように説教されたか:パウロは義と節制と来るべき審判とを論じれば、フェリクスは恐れた(使徒行伝24:25)——この説教において、義と審判との間に立つのは、同じ言葉エンクラテイア(G1466、自制)である。

自分自身への適用方法:わたしはわたしの身を打ちたたいて服従させる(コリント人への第一の手紙 9:27)——そのように走って、これを得よ(コリント人への第一の手紙 9:24)。

それが永遠に至る様相: 彼らは朽ちる冠を得るためにそれを行うが、我らは朽ちない冠を得るためである (コリント前書9:25) ——消え去ることのない栄光の冠 (ペテロ前書5:4)、そしてかの祝福された望み、栄光ある顕現 (テトス書2:13)。

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).